

会 議 録

会議録	平成28年度 第11回（臨時）長洲町教育委員会会議
招集年月日	平成29年1月5日（木）午後1時30分
招集場所	長洲町役場 3階中会議室
出席者	松本教育長、大山教育長職務代理者、木下委員、田中委員、隈部委員
欠席者	なし
職務説明責任者	藤井学校教育課長、長田生涯学習課長、松林学校教育課長補佐
会議録作成者	松林学校教育課長補佐を指名

日程番号	事件番号	事 件 内 容
第 1		議事日程について
第 2		会議録署名委員の指名について
第 3	協議第13号	平成29年度教育委員会予算（案）について (学校教育課)(生涯学習課)
第 4	報告第24号	新聞報道について【非公開】 (学校教育課)

【会議録】

事務局：皆さまこんにちは。只今から、第11回長洲町教育委員会会議を開催いたします。なお、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」第13条第1項に基づき、会議の議事進行を教育長にお願いします。

教育長：はい、皆さまおはようございます。本日は、出席委員が定数に達しておりますので、この会議が成立することを報告します。

あらかじめ、お諮りします会議の議題は、事前に通知したとおりでよろしいでしょうか。

各教育委員：はい。

教育長：なお、日程番号第4、報告第24号は、現在、裁判中の案件でもありますので、非公開としますが、よろしいでしょうか。

各教育委員：はい。

教育長：日程番号第1、議事日程について、本日1日間とします。よろしいでしょうか。

各委員：はい

教育長：日程番号第2、会議録署名委員の指名について、隈部委員を指名します。

隈部委員：はい、お受けいたします。

教育長：日程番号第 3、協議第 13 号 平成 29 年度教育委員会予算（案）について、説明をお願いします。

藤井課長：協議第 13 号 平成 29 年度教育委員会予算（案）について、別紙について、協議方をお願いします。平成 29 年 1 月 5 日提出 長洲町教育長 松本 昇でございます。

（以下、別紙にて生涯学習課の予算について説明

教育長：今の件について、ご質問、ご意見はございませんか。

大山委員：未来館の印刷機はどんな印刷機か。

長田課長：ポスターやチケットを印刷するカラーの印刷機。今までのが利用できなくなった。リースにすると月 5 万円になる。

木下委員：本来、指定管理にした時点で管理団体が担うのかと思っていた。

長田課長：印刷機につきましては備品に入っていない。それで協議が必要になってくる。

大山委員：長洲嫁入り唄保存会への補助は平成 27 年、28 年いくらだったのが、1 万円になったのか。

長田課長：平成 27 年、28 年は備品購入で多かった。そろったので、もどした。

大山委員：いくらだった。10 万と思っているんだけど。

長田課長：平成 27 年は 20 万円、平成 28 年は 5 万円となっている。

木下委員：事業費内訳は右が新しい、下は左が新しい、見にくい。

長田課長：財政の方の用紙なので・・・。

木下委員：目標値 100、100 ですね。指標、回数ですね。予算が切られとった。本来、文化振興は町の政策の目標であれば、ちゃんと評価して、算定が出てくるのではないか。文化協会も一生懸命やってるし、もう少し評価しなければならない。

大山委員：文化協会に 20 万、各サークルにはいかないんですか。全体的に必要なものではないか。

長田課長：協会にやっているもので、その後のことははっきりとは分からない。

大山委員：教育目標に郷土愛あるので、予算をつける方向でお願いしたい。

隈部委員：やっぱり何をしたいんですか。よくわからない。郷土愛だから伝統を育てていて、その機会を持たせる。60 周年をやりましょうというテーマがあって、それに予算をどんとつけます。あとは効率化の為に減らしましょう。プラス、マイナスでこのようになります。何を一生懸命したいのか、これだけはするぞというのがわからない。

木下委員：教育関係の予算はできるだけ取りたい。最低の予算はあるので確保してあげなければならない。

大山委員：公民館講座が活発になってきた。そこに予算をつけたい。

隈部委員：継続的に何かに集中、例年通りではおもしろくない。

長田課長：いろいろな事業をもっているのだからこれといって目標をとれない。そういった意見をいただければいいんですけど。

木下委員：年度ごとの事業計画をみて、少し総額が減っている。交付金がへっているの町負担が増える。

大山委員：何分の 1 とか決まっているんでしょう。

長田課長：放課後子ども教室は補助の上限が決まっているので、多くすればするほど負担が増える。

木下委員：町が無理していると思った。

大山委員：活動が活発になればなるほど、町の財源を使う。

大山委員：子どもスポーツ未来について詳しく。

長田課長：小学校の部活動がなくなりましたので、各小学校で放課後に週 1 回運動する時間を作りたい。

大山委員：学校、曜日をずらしていくということですか。回数を増やす考えはあるのか。

長田課長：できれば増やしたい。

大山委員：放課後の居場所づくりをこれでやっていくのか。

長田課長：現在もタグラクビーをやっている。放課後で週 1 回やっている。

田中委員：予算が決まってから対象学年が決まっていくと理解していいのですか。

長田課長：そうです。

木下委員：将来的には指導者を 4 人ぐらいにしてはどうか。

長田課長：指導者が確保できれば。

大山委員：メインはサンアメニティかニコニコか。

長田課長：サンアメニティに相談している。ニコニコでもいい。

大山委員：今年は町長選挙があるので、今、話しているのは暫定予算なのか・・・。

長田課長：こういったものはおそらく 6 月以降になるのでは、必要なものは当初予算で組めますけど

隈部委員：文化財保護ということで新しい政策はないのか。

長田課長：ぼたもちさんの看板を新しくします。そのほか、何箇所かの看板を新しくする。

大山委員：文化財保護委員会があって議論している。

長田課長：まだ開いていない。早めに開きたい。

隈部委員：古文書がぼろぼろになってきますからね。

木下委員：吉田晴風さんの利子が入っているが、基金があるのか。

長田課長：条例がある。今はほとんど入ってこない。

田中委員：スポーツセンター工事費、今から加えられないのか。バスケットリングが大人用。社会体育になって、現在のスポーツ環境をどうかしようというような会議はないのか。

長田課長：体協、にこにこ、町、指定管理者で長洲町のスポーツ振興について協議する会議を 1 月末にする。

教育長：他に生涯学習課関係の質問はありませんか。それでは生涯学習課関係は終わります。

藤井課長：学校教育課の予算について説明

大山委員：今年はどのような配置か。

藤井課長：山門先生は自立支援員で心の教室相談員、重複している。心の教室相談員はもう一人いる。

大山委員：本年度は自立支援員 1 名、心の教室相談員 1 名。来年度は心の教室相談員は 2 名。

木下委員：自立支援員はいない、心の教室相談員はもとにもどり 2 名。

木下委員：長期的に続く、大型のは振興計画にあげないとできない。

藤井課長：突発的なのはできない。

大山委員：エアコンがついて電気代が減るんですか。

藤井課長：地中熱でエアコンの稼働率を減らす。

藤井課長：予算の枠には 12 名にしている。が、小は 2 名、中は 1 名での対応と考えている。

藤井補佐：臨時職員の待遇の要望は出したが、できなかった。

田中委員：いまどき、安い、普通のバイトと同じ。もっと高いバイトがある。

木下委員：来年の 1 年生への特別支援教育支援員の必要数はまだ出ていないんですか。

大山委員：注意して見ておかななくてはならない子の資料は出てるんですか。

松林補佐：まだ出ていない。私たちがある程度把握している。

松林補佐：担任の先生の基準がマチマチ。本来なら必要なところに配置すべきなんだが。

大山委員：昨年の条件にもどせないか。有資格者に戻す。

松林補佐：学校から時間を長くしてほしいと要望があったので有資格者の条件を外した。

田中委員：しかし、資格を持っていない方になったので意見は出なかったのか。

大山委員：有資格者がいいが、人間性が一番大切。

木下委員：いくらかプラスして通らないのか、専門的なことで、教育的配慮で、手当的なことで

大山委員：どれくらい時給は違うのか。

藤井課長：600 円減って、時間は 2 時間増えている。

大山委員：寺子屋塾の予算は 4 倍になっていない。

松林補佐：1 日の時間を減らした。3 時間を 2 時間半にした。日数を減らした。

隈部委員：腹赤小校区のふるさと塾の責任者は地域の人になってるのか。

松林補佐：そうはなっていない。教育委員会主催なので。

大山委員：開け閉めと・・・。

松林補佐：道具を運ぶこと。

隈部委員：やり方をきちんと考えないと絶対できない。

松林補佐：本来の貧困対策になっていない。

大山委員：コミュニティ・スクールの準備委員会の委員さんだが、評価委員さんとは違う。何か考えているか。

松林補佐：学校が考えている。加配の申請をした。2 校とも付くかもしれないし、全く付かないかもしれない。長洲小についた場合、他の小学校へは行けない。委員会配置は小中一貫の場合のみに限るので。

大山委員：予算は均等割りですか。

松林補佐：備品と消耗品は一律。

隈部委員：ICT は全体的に計画を立ててやらないと。何のためにするのか考えないと。みんな一律には考えられない。導入した小学校の記事を読んだ、いいかもしれ

ないと思った。

木下委員：一時的なブームではするけど、あとは使わなくなる。

隈部委員：そのうちなんとかしないといけない。

大山委員：枝切りは何年かに1回と決めて予算を出せばいい。

木下委員：腹栄中の体育倉庫の蛍光灯、この前言ってもらえば換えたのに、機器が壊れているのか。

田中委員：教育長が優先順位をつけるのか。

木下委員：長洲中と腹栄中のプロジェクターの値段が違う。腹栄中は体育館でも使えるように考えている。

田中委員：教材備品なんかは。

藤井課長：一律20万円にしています。

教育長：それでは、これでよろしいでしょうか。

各委員：はい

教育長：この件はこれで終わります。

教育長：日程番号第4、報告第24号 新聞報道について、説明をお願いします。

藤井課長：報告第24号 新聞報道について、このことについて、別紙のとおり報告します。

平成29年1月5日提出、長洲町教育長 松本 昇でございます。

(以下、別紙にて説明)

教育長：今の件について、ご質問、ご意見はございませんか。

木下委員：27日までは同じ報道かな。

教育長：それでは、この件はこれで終わります。これで本日の全日程を終了します。